

平成28年度

提 言 書

文化・産業のまち部会

テーマ：「人口3万人を維持する、にいみの文化・産業」

～ 地場産業の振興と豊かな観光資源で人々を呼び込もう ～

1. はじめに

戦後増え続けていた日本の総人口が減少に転じ、新見市においても人口減少、高齢化がますます進んでおります。その対策は待ったなしの状況にあり、市民一人ひとりが知恵と力を出し合い、難題に立ち向かうべき時にあるように思います。

そこで、この課題を克服するためには、産業を振興し雇用を確保することが最も重要であると考え、本年度、商工業・観光について協議を重ねてきました。

2. 具体的提言

(1) 商工業について

誘致企業や基幹産業である石灰業は新見市の産業としてこれからも多くの雇用が求められています。また、建設業においては公共事業等の大幅減少により厳しい経営環境にあり、さらに、小売業においても市内購買量の減少により経営維持が困難を極めていると考えられます。

このことから、現状をかんがみ、次のような対策が必要であると考えます。

- ① 積極的な企業誘致で、新たな地元雇用の創出
- ② 地域の豊かな資源を活用し、地域限定商品の開発と販売
- ③ 高齢者や障がい者などの買い物弱者対策として、移動販売や配達販売の推進

(2) 観光について

市内主要観光地の多くは一時期に比べて大幅に観光客が減少しています。

この現状を打破するためには、新たな観光資源の開発と新しい取り組みが必要です。

- ① 旅行会社や周辺市町村、JR などとも連携した新しい企画で積極的な観光客誘致の推進
- ② 観光客に分かりやすい観光案内所などの設置と新たな観光ガイドの育成
- ③ 既存観光施設におけるトイレや駐車場、進入路などの施設・設備の改善や充実
- ④ 高瀬舟や蒸気機関車などの復活
- ⑤ 農林業の体験型観光の実施
- ⑥ 学校行事や公民館活動などによる、市民を対象とした市内観光資源の啓蒙活動

3. まとめ

人口減少の問題は行政の問題にとどまらず、市民全員の英知を絞って解決すべき最重要課題であります。文化・産業のまち部会として、新見市が目指す人間味あふれる元気な「ひと」をはぐくみ、地域の資源を活かした「しごと」を創造し、人が誇りと生きがいを持って、助け合いながら生きていく「まち」づくりを目指して、この度の提言とさせていただきます。